

# 第三回幹細胞シンポジウム

## プログラム

平成17年4月21日(金)～23日(土)

淡路夢舞台国際会議場

共催 : 21世紀COE 細胞・組織の統合制御にむけた総合拠点形成

13:20～13:30

開会の辞

<セッション I 造血の分子機構> 座長：瀧原義宏、千葉 滋

13:30～15:10

1. オンコスタチン M による造血環境の制御

峯畑健一、竹内眞樹、神谷淑子、宮島篤  
(東京大学分子細胞生物学研究所・機能形成研究分野)

2. 造血幹細胞自己複製制御における p38MAPK の役割

伊藤圭介、田久保圭誉、新井文用、松岡佐保子、須田年生、平尾 敦  
(慶應義塾大学医学部 発生・分化生物学)

3. gp130 の活性化によるヒト造血前駆細胞の分化・増殖に対する Notch ligand Delta-1 の作用

大石晃嗣、片山直之、山村賢太郎、榊屋正浩、珠玖 洋  
(三重大学医学部 内科学第二講座、三重大学医学部附属病院 輸血部)

4. Notch リガンドを用いた臍帯血造血幹細胞増幅の試み

鈴木 隆浩、小川 誠司、熊野 恵城、黒川 峰夫、西川 光郎<sup>1</sup>、坂野 誠治<sup>2</sup>、平井 久丸、  
千葉 滋  
(東京大学大学院医学系研究科・医学部附属病院 造血再生医療講座、血液腫瘍内科、  
無菌治療部；<sup>1</sup>キリンビール医薬カンパニー；<sup>2</sup>旭化成中央研究所)

15:10～15:40 コーヒーブレイク ポスター掲示

15:40～16:30

5. 造血幹細胞制御における DNA 複製制御因子 Geminin-Cdt1 の役割

瀧原義宏、大坪素秋、安永晋一郎、宮地-畠迫里佳、石川暢恒、岡田賢  
(広島大学原爆放射線医科学研究所・幹細胞機能学研究分野)

6. AML1 複合体因子の転写制御及び造血における役割

北林一生、相川祐規子、勝本拓夫  
(国立がんセンター研究所 分子腫瘍学部)

16:30～17:30

<特別講演 I> 座長：仲野 徹

細胞老化と細胞周期制御

原 英二  
(徳島大学ゲノム研究センター・蛋白情報分野)

18:00～

<ポスターセッション I>

4月22日 (金)

<セッションⅡ 新しい研究法、ES細胞> 座長：山中伸弥、石田靖雅

8：30～10：10

7. 膀胱由来幹細胞の分化関連遺伝子スクリーニングシステムの確立

倭 英司、馬場庸平、山本恒彦、田代 文、宮崎純一

(大阪大学大学院医学系研究科幹細胞制御)

8. NMD の抑制により「偏り」のない理想的な遺伝子トラップが実現される

重岡稔章、川市正史、石田靖雅

(奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科)

9. 本来の遺伝子発現制御ユニットを運ぶヒト人工染色体ベクターを目指して

押村光雄、他15名

(鳥取大大学院医学系研究科・機能再生医科学専攻)

10. 幹細胞の起源と分化の多様性

江良 択実、高島康弘、西川 伸一

(理研・発生再生研・幹細胞)

10：10～10：40 コーヒーブレイク

10：40～11：30

11. ES細胞の増殖並びに腫瘍原性におけるUTF1タンパク質の役割

奥田晶彦<sup>1</sup>、宮城 聡<sup>1</sup>、丹羽仁史<sup>2</sup>、西本正純<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>埼玉医科大学ゲノム医学研究センター、<sup>2</sup>理研・発生再生研・多能性幹細胞)

12. マウスES細胞で高発現する転写因子の相互作用

丸山昌良、今村公紀、一阪朋子、山中伸弥

(京都大学再生医科学研究所 再生誘導研究分野)

11：30～12：30

<特別講演Ⅱ> 座長：須田年生

ショウジョウバエにおけるRNA silencingの分子メカニズム

塩見美喜子

(徳島大学ゲノム研究センター・分子機能解析分野)

12：30～13：30 昼食

13：20 記念写真撮影

4月22日 (金)

<セッションⅢ いろいろな幹細胞> 座長：後藤由季子、中島欽一

13:30~15:10

13. ゼブラフィッシュ胎児造血にかかわるキナーゼ Melk の解析

齋藤理佳、田畑陽子、武藤彰彦、新井賢一、渡辺すみ子  
(東京大学医科学研究所・染色体制御分野)

14. 始原生殖細胞の分化を制御するシグナル伝達機構の解析

木村 透<sup>1</sup>、中村肇伸<sup>2</sup>、村山一茂<sup>1</sup>、渡部晶子<sup>2</sup>、榎原宏紀<sup>2</sup>、友岡麻耶<sup>2</sup>、  
武藤 誠<sup>3</sup>、鈴木 聡<sup>4</sup>、仲野 徹<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup> 阪大院・医、<sup>2</sup> 阪大院・生命機能、<sup>3</sup> 京大院・医、<sup>4</sup> 秋田大院・医)

15. マウスにおける生殖細胞の決定機構

大日向 康秀<sup>1</sup>、Bernhard Payer<sup>2</sup>、Dónal O'Carroll<sup>3</sup>、Katia Ancelin<sup>2</sup>、小野 由紀子<sup>1</sup>、  
佐野 光枝<sup>1</sup>、Sheila C.Barton<sup>2</sup>、Alexander Tarakhovsky<sup>3</sup>、M.Azim Surani<sup>2</sup>、齋藤 通紀<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup> 理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター 哺乳類生殖細胞研究チーム、  
<sup>2</sup> Wellcome Trust/Cancer Research UK Gurdon Institute, University of Cambridge、  
<sup>3</sup> The Laboratory for lymphocyte Signaling, The Rockefeller University)

16. 色素幹細胞をモデルとした幹細胞維持機構の解明

大沢匡毅、Rasmus Freter, Suzanne Mak, 江川形平、森山麻里子、西川伸一  
(理研発生再生研究センター、幹細胞研究グループ)

15:10~15:40 コーヒーブレイク ポスター掲示

15:40~16:30

17. 発生段階依存的な神経幹細胞成熟機構の解析

波平昌一、田賀哲也、中島欽一  
(奈良先端科学技術大学院大学、バイオサイエンス研究科、分子神経分化制御学講座)

18. 神経系前駆細胞の分化制御における PI3 キナーゼ-Akt 経路の役割

大石 康二、綿谷 健治、吉松 剛志、増山 典久、後藤 由季子  
(東京大学 分子細胞生物学研究所)

16:30~17:30

<特別講演 Ⅲ> 座長：田賀哲也

岩井一宏  
ユビキチン修飾系が選択的に蛋白質を識別するしくみ  
(大阪市立大学 医学研究科 分子制御分野)

17:30~17:40 幹細胞シンポジウム総会

18:00~

<ポスターセッション Ⅱ>

4月23日 (土)

<セッションIV 血液細胞の増殖・分化> 座長：原 孝彦、依馬秀夫

8：30～11：00

19. リンパ系前駆細胞の生成過程における IL-7 レセプターの機能  
李海天、柴田寛文、小川伸哉、真木一茂、生田宏一  
(京都大学ウイルス研究所・生体防御研究分野)
20. 造血幹細胞遺伝子 S76 の単離と機能解析  
岡本土毅<sup>1</sup>、清野真理<sup>1</sup>、北村俊雄<sup>2</sup>、原 孝彦<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>財団法人東京都医学研究機構・東京都臨床医学総合研究所・幹細胞プロジェクト、  
<sup>2</sup>東京大学医科学研究所・先端医療研究センター・細胞療法分野)
21. 造血系における Lineage Specification  
岩崎浩己、有信洋二郎、水野晋一、重松宏和、岩崎潤子、宮本敏浩、赤司浩一  
(九州大学医学部 遺伝子細胞療法部、Dana-Farber Cancer Institute)
22. 造血幹細胞の数の制御機構  
依馬秀夫、清田純、中内啓光  
(東京大学医科学研究所 幹細胞治療研究分野)
23. 幹細胞動員と組織再生機構との関連性  
服部浩一、大木勇一、佐藤弥生、Beate Heissig  
(東京大学医科学研究所 ヒト疾患モデル研究センター 幹細胞制御領域)
24. サル ES 細胞由来の造血再構築  
柴田宏昭<sup>1</sup>、揚山直英<sup>2</sup>、林聡<sup>3</sup>、北野良博<sup>3</sup>、寺尾恵治<sup>2</sup>、花園豊<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>自治医科大学再生医学研究部、<sup>2</sup>国立感染症研究所筑波霊長類センター、  
<sup>3</sup>国立成育医療センター)

11：00～11：05

閉会の辞

4月21日(木)

18:00~

<ポスターセッション I>

1. Matrigel 内前立腺再構築

東真樹<sup>1,2</sup>、田久保圭誉<sup>1</sup>、濱口功<sup>1</sup>、平尾敦<sup>1</sup>、須田年生<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部 発生・分化生物学 <sup>2</sup>東京大学大学院泌尿器科学)

2. siRNA を用いた初期胚未分化幹細胞制御因子の探索

足立健次郎、岩倉洋一郎  
(東京大学医科学研究所 ヒト疾患モデル研究センター 細胞機能研究分野)

3. bFGF による胎生期神経上皮細胞の背腹軸運命決定機構

精松昌彦<sup>1,2,3</sup>、鹿川哲史<sup>2</sup>、福田信治<sup>2</sup>、小宮節郎<sup>3</sup>、中島欽一<sup>1</sup>、田賀哲也<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>奈良先端科学技術大学院大学 分子神経分化制御学講座)  
(<sup>2</sup>熊本大学発生医学研究センター 転写制御分野)  
(<sup>3</sup>鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 運動機能修復学講座)

4. マウス ES 細胞由来血管前駆細胞および血管内皮細胞の核移植

天野朋和<sup>1)</sup>・片岡恵一郎<sup>2)</sup>・鈴木宏志<sup>1), 3)</sup>・栗原裕基<sup>2)</sup>  
(東京大学大学院医学系研究科 1) 発生・医療工学、2) 代謝生理化学、  
3) 帯広畜産大学 原虫病研究センター)

5. 臍幹細胞の可視化と選択的分離による系譜的解析

臍幹細胞の可視化と選択的分離による系譜的解析  
石川桃太郎<sup>1</sup>、川下金明<sup>1</sup>、大島祐二<sup>2</sup>、松本征倫<sup>3</sup>、禾泰壽<sup>3</sup>、谷口英樹<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>横浜市大・院医・臓器再生, <sup>2</sup>理研・CDB・臓器再生研究ユニット <sup>3</sup>埼玉医大・医・分生,)

6. 転写共役因子 TRAP220 による造血前駆細胞の分化調節

伊藤光宏、浦浜憲永、定明子、松井利充  
(神戸大学医学部 血液・腫瘍内科)

7. ES 細胞特異的遺伝子のエピジェネティックな発現調節機構

今村公紀、山中伸弥  
(京都大学医学部再生医科学研究所 再生誘導研究分野)

8. アデノ随伴ウイルスの組込み機構を利用した間葉系幹細胞への

第19番染色体 AAVS1 領域特異的遺伝子導入

上部匡司、松下 卓、岡田尚巳、水上浩明、久米晃啓、小澤敬也  
(自治医科大学 分子病態治療研究センター 遺伝子治療研究部)

9. Notch Ligand Delta-like-1 による T 細胞の分化制御

岡田誠治、鈴木伸也、坂野誠治  
(熊本大学エイズ学研究センター・予防開発分野、旭化成・研究開発本部)

- 1 0. ES 細胞由来神経系前駆細胞の時間的・空間的特異性制御  
：マウス ES 細胞から運動ニューロンへの分化誘導  
岡田洋平、松本有史、島崎琢也、祖父江元、岡野栄之  
(慶應義塾大学医学部 生理学、名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科学)
- 1 1. ES 細胞で発現する GDF3 の機能解析  
小田 泰昭、一阪 朋子、山中 伸弥  
(奈良先端科学技術大学院大学 動物分子工学部門)
- 1 2. 心臓 SP 細胞は in vitro にて拍動する心筋細胞へ分化する  
小山知美、永井敏雄、松浦勝久、和田浩、岩永孝治、小室一成  
(千葉大学大学院医学研究院 循環病態医科学)
- 1 3. PCLP 1 の発現レベルの違いによる血球/血管内皮前駆細胞の同定  
鬼塚和泉<sup>1,2</sup>、岡部智也<sup>1</sup>、矢原一郎<sup>1</sup>、竹内眞樹<sup>2</sup>、宮島篤<sup>2</sup>  
(株式会社医学生物学研究所<sup>1</sup>、東京大学分子細胞生物学研究所機能形成研究分野<sup>2</sup>)
- 1 4. 染色体異常を持つ ES 細胞の作製および神経分化過程に見られるアポトーシスの検索  
甲斐義輝<sup>1</sup>、香月康宏<sup>1</sup>、阿部智志<sup>1</sup>、滝口正人<sup>2</sup>、岸上哲士<sup>3</sup>、若山照彦<sup>3</sup>、Chi Chiu Wang<sup>4</sup>、  
押村光雄<sup>1, 2</sup>  
<sup>1</sup> (鳥取大学大学院医学系研究科機能再生医科学専攻)  
<sup>2</sup> (鳥取大学大学院医学系研究科生命科学系専攻)  
<sup>3</sup> (理化学研究所、発生・再生科学総合研究センター)
- 1 5. 胚性幹 (ES) 細胞のデフォルト分化を探る  
加藤英政、小野寺朋子、伊藤亜佐子、伊藤拓哉  
(東北大学先進医工学研究機構 生命機能科学分野)
- 1 6. マウス胎仔肝細胞培養系を用いた、T 細胞初期分化における  
転写因子 Runx1 の各ドメインの機能解析  
河津 正人<sup>1</sup>、浅井 隆司<sup>1</sup>、市川 幹<sup>1</sup>、瀬尾 幸子<sup>1</sup>、山本 豪<sup>1</sup>、合山 進<sup>1</sup>、  
小川 誠司<sup>1</sup>、千葉 滋<sup>1,2</sup>、平井 久丸<sup>1,2</sup>、黒川 峰夫<sup>1</sup>  
(東京大学大学院医学系研究科, 1 血液・腫瘍内科、2 無菌治療部)
- 1 7. LIM-homeobox 型転写因子 Lhx-2 による血液細胞の増殖制御機構  
北島健二、仲野徹  
(大阪大学医学部 病理学)
- 1 8. ヒト未分化造血幹細胞における FLT3 発現とその幹細胞特性  
木村貴文、王 劍鋒、佐々木 豊、辻 孝、池原 進、菌田精昭  
(京都府立医科大学大学院医学研究科分子標的癌予防医学、  
東京理科大学基礎工学部生物工学科、関西医科大学大学院医学研究科  
再生医療学専攻修復医療応用系)
- 1 9. コモンマーモセット胚性幹(ES)細胞を用いた血球細胞分化誘導系の検討

栗田良<sup>1</sup>, 佐々木えりか<sup>2</sup>, 横尾朋子<sup>1</sup>, 寛山隆<sup>3</sup>, 中崎有恒<sup>1</sup>, 石井一<sup>2</sup>, 谷岡功邦<sup>2</sup>,  
伊澤清子<sup>4</sup>, 白元松<sup>4</sup>, 曾田泰<sup>4</sup>, 谷憲三朗<sup>1</sup>  
(1:九州大学 生体防御医学研究所 ゲノム病態学, 2:実験動物中央研究所 実験動物  
センター, 3:理研バイオリソースセンター, 4:東京大学 医科学研究所 分子療法分野)

## 2 0. 頭部神経堤幹細胞の可塑性と位置情報決定機構

栗原由紀子、尾関英徳、福原茂朋、天野朋和、栗原裕基  
(東京大学大学院医学系研究科 生化学・分子生物学講座 代謝生理化学)

## 2 1. マウス初期胚における始原生殖細胞の単一細胞マイクロアレイ解析

栗本一基、藪田幸宏、大日向康秀、関由行、斎藤通紀  
(理化学研究所 CDB 哺乳類生殖細胞研究チーム)

## 2 2. ES 細胞への染色体導入によるヒト型モデル動物の作製

香月康宏<sup>1</sup>、甲斐義輝<sup>1</sup>、阿部智志<sup>1</sup>、滝口正人<sup>1</sup>、星谷英寿<sup>1</sup>、富塚一磨<sup>3</sup>、花岡和則<sup>3</sup>、  
押村光雄<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>鳥取大・院医・機能再生医科学<sup>2</sup>キリンビール医薬探索研究所、<sup>3</sup>北里大・理)

## 2 3. 樹状前駆細胞と自己造血前駆細胞の interaction

斉藤邦恵、廣川 誠、深谷博志、川端良成、小松田敦、山下順助、澤田賢一  
(秋田大学医学部内科学第 3 講座)

## 2 4. 成体の神経幹細胞における Galectin-1 の機能

坂口昌徳、新郷哲郎、島崎琢也、岡野ジェームズ洋尚、志和美重子、  
Françoise Poirier、門屋利彦、平林 淳、中内啓光、澤本和延、岡野栄之  
(慶應義塾大学医学部生理学)

## 2 5. Wnt3a による骨髄球系前駆細胞の誘導

櫻井健二・國里篤志・稲垣好昌・西川光郎  
(キリンビール医薬カンパニー)

## 2 6. 小型霊長類コモンマーモセット胚性幹細胞の樹立および遺伝子導入法の検討

佐々木えりか<sup>1)</sup>、花澤喜三郎<sup>2)</sup>、谷岡功邦<sup>1)</sup>、栗田良<sup>6)</sup>、末盛博文<sup>3)</sup>、中辻憲夫<sup>4)</sup>、  
岡野栄之<sup>5)</sup>、玉置憲一<sup>1)</sup>、谷憲三朗<sup>6)</sup>  
(<sup>1)</sup> 実験動物中央研究所、<sup>2)</sup> 順天堂大学浦和病院、<sup>3)</sup> 京都大学再生医科学研究所  
附属幹細胞医学研究センター 霊長類胚性幹細胞 <sup>4)</sup> 京都大学再生医科学研究所  
発生分化研究分野 <sup>5)</sup> 慶應大学 生理学教室 <sup>6)</sup> 九州大学生体防御医学研究所)

## 2 7. 未分化網膜細胞を特異的に標識する表面抗原、SSEA-1

佐藤伸哉、井上真理子、高祖秀登、南千春、新井賢一  
(東京大学医科学研究所 染色体制御研究部)

## 2 8. 栄養外胚葉分化における Rho ファミリーGTPase の役割

下里大輔、豊岡やよい、丹羽仁史  
(理研 発生再生研 多能性幹細胞研究チーム)



2 9. Nullipotent EC 細胞を用いた幹細胞特性の解析

川添 真史郎、渋谷 昌幸、押村 光雄、白吉 安昭  
(鳥取大学医学部生命科学科分子細胞生物学講座細胞工学分野)

3 0. 全能性の再獲得能を司る始原生殖細胞の核内基盤の解明

関 由行<sup>1</sup>、佐野 光枝<sup>1</sup>、藪田 幸宏<sup>1</sup>、松居 靖久<sup>2</sup>、齋藤通紀<sup>1</sup>  
(1. 理研 発生・再生科学総合研究センター 哺乳類生殖細胞研究チーム,  
2. 東北大学 加齢学研究所 医用細胞資源センター)

3 1. PI3-kinase による ES 細胞の増殖促進と多能性維持

高橋 和利、一阪 朋子、山中 伸弥  
(京都大学医学部再生医科学研究所 再生誘導研究分野)

3 2. Ataxia-Telangiectasia-Mutated による精子幹細胞システムの維持機構

田久保圭蒼、平尾 敦、大村昌子、須田年生  
(慶應義塾大学医学部 発生・分化生物学)

3 3. 転写因子 GATA-1 による赤血球系細胞の増殖・分化調節機構

ZHENG Jie<sup>1</sup>、北島健二<sup>1</sup>、峯岸直子<sup>2</sup>、山本雅之<sup>3</sup>、仲野 徹<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>阪大・医・病理, <sup>2</sup>東北大・先進医工学, <sup>3</sup>筑波大・TARA センター)

3 4. 胚性幹細胞で高発現する Zn フィンガータンパク質 Sall4 の機能解析

坪岡 則子、一阪 朋子、山中 伸弥  
(京都大学再生医科学研究所 再生誘導研究分野)

3 5. 未分化(Oct-3/4+) ES 細胞集団中の sub-population について

豊岡やよい<sup>1</sup>、荒木良子<sup>2</sup>、安倍真澄<sup>2</sup>、丹羽仁史<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>理化学研究所・多能性幹細胞研究チーム <sup>2</sup>放射線医学総合研究所・  
先端遺伝子発現研究センター)

4月22日 (金)

18:00～

<ポスターセッション II>

36. Runx1/AML1 転写因子の白血病関連微細変異がもたらす生物作用の検討

中瀬葉子、中尾光成、奥田 司

(京都府立医科大学 大学院医学研究科 分子標的癌予防医学)

37. ヒト血小板増加作用を持つ新規低分子化合物 (NIP-004) の創製

中村隆典<sup>1,4</sup>、宮川義隆<sup>4</sup>、宮村淳史<sup>1</sup>、石綿紀久<sup>1</sup>、宮地克明<sup>2</sup>、伊藤守<sup>3</sup>、池田康夫<sup>4</sup>、  
水流添暢智<sup>1</sup>

(1;日産化学工業(株) 生物科学研究所 医薬研究部、2;物質科学研究所 医薬研究部、  
3;(財)実験動物中央研究所、4;慶應義塾大学医学部 内科学教室)

38. 核移行タンパク PGC7/Stella の初期発生における必要性

中村肇伸、木村透、仲野徹

(大阪大学医学系研究科 病理学講座)

39. 新規 HAC ベクターによる間葉系幹細胞の分化に伴う組織特異的遺伝子発現

任鮮英<sup>1</sup>、加藤基伸<sup>2</sup>、柴田弘太郎<sup>3</sup>、戸口田淳也<sup>3</sup>、押村光雄<sup>1,2,4</sup>

(鳥取大・院医・1 生命科学、2 ゲノム医工学、4 機能再生医科学、3 京大・再生研)

40. 髄外造血を主体とするアフリカツメガエル (*Xenopus laevis*) の赤血球造血

野川菜美<sup>1</sup>、石田貴子<sup>1</sup>、出口雅人<sup>1</sup>、会沢洋一<sup>1</sup>、加藤尚志<sup>1,2</sup>

(早稲田大学 大学院理工学研究科 生命理工学専攻<sup>1</sup>、教育学部 理学科 生物学専修<sup>2</sup>)

41. マウス胎生中期の AGM 分散培養より生じた未分化血球細胞の解析

信久 幾夫、大津直樹、田賀 哲也

(熊本大・発医研・転写制御)

42. 癌抑制遺伝子 PTEN による血管内皮細胞・血液細胞の制御

濱田 浩一、仲野 徹、鈴木 聡

(秋田大学医学部 分子医科学、大阪大学大学院医学研究科 病理学)

43. 再生不良性貧血発症における転写因子 GATA-2 の発現異常の関与

張替秀郎<sup>1</sup>、沖津庸子<sup>2</sup>、横山寿行<sup>2</sup>、関正則<sup>2</sup>、高橋伸一郎<sup>1</sup>、石井智徳<sup>2</sup>、  
亀岡淳一<sup>2</sup>、峯岸直子<sup>3</sup>、鈴木教郎<sup>4</sup>、山本雅之<sup>4</sup>、賀来満夫<sup>1</sup>、佐々木毅<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>東北大学感染制御・検査診断学、<sup>2</sup>免疫・血液病学、<sup>3</sup>先進医工学研究機構、  
<sup>4</sup>筑波大学先端学際領域研究センター)

44. 骨格筋幹細胞 (筋衛星細胞) の純化、動態、網羅的な遺伝子発現解析

深田宗一郎<sup>1</sup>、上住聡芳<sup>1</sup>、池本円<sup>1</sup>、増田智<sup>1</sup>、瀬川将司<sup>2</sup>、山元 弘<sup>2</sup>、  
鈴木友子<sup>1</sup>、武田伸一<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>国立精神・神経センター 神経研究所、遺伝子疾患治療研究部)

<sup>2</sup>大阪大学大学院薬学研究科、細胞生理学分野)

4 5. シグナル伝達分子 SOCS3 によるアストロサイトの分化抑制機構

福田 信治<sup>1</sup>、中島 欽一<sup>2</sup>、吉村 昭彦<sup>3</sup>、田賀 哲也<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>熊本大・発生研・転写制御、<sup>2</sup>奈良先端大・バイオ、<sup>3</sup>九州大・生医研・免疫制御)

4 6. 成体骨髄における造血幹細胞維持に対する N-カドヘリンの作用

細川 健太郎、新井 文用、平尾 敦、須田 年生

(慶應義塾大学医学部 発生・分化生物学)

4 7. 海馬神経新生における転写因子 Pax6 の役割

前川 素子、湯浅 茂樹、大隅 典子

(東北大学医学部 形態形成解析分野・国立精神神経センター 微細構造研究部)

4 8. Sox 2 はマウス ES 細胞の未分化性維持に必須である

升井 伸治・矢木 利香・高橋 一恵・丹羽 仁史

(理化学研究所 発生再生科学総合研究センター 多能性幹細胞研究チーム)

4 9. ヒト子宮内膜 SP 細胞の幹細胞特性解析

升田 博隆<sup>1) 2)</sup>、丸山 哲夫<sup>1)</sup>、小野 政徳<sup>1)</sup>、岡野 栄之<sup>2)</sup>、松崎 有未<sup>2)</sup>、吉村 泰典<sup>1)</sup>

(1) 慶應義塾大学医学部産婦人科学教室 2) 慶應義塾大学医学部生理学教室 )

5 0. Fli-1 は顆粒球、赤芽球、NK 細胞の分化・増殖に関与する

榎屋 正浩、片山 直之、大石 晃嗣、珠玖 洋、小川 眞紀雄

(三重大学医学部附属病院 輸血部・血液内科、医学部 内科学第二講座、サウスカロライナ医科大学 実験血液学)

5 1. エピジェノタイプ構築プロセスに基づいた新たな幹細胞研究の可能性

三ツ矢 幸造

(東北大学 先進医工学研究機構)

5 2. 精子形成におけるマウス Piwi ファミリーの役割

宮川 (倉持) さとみ、仲野 徹

(阪大 生命機能研究科/医学系研究科 病理学)

5 3. CES1 遺伝子欠損 ES 細胞、マウスの機能解析

宮崎 竜志、後藤 田奈々香、宮崎 早月、安野 徹、田代 文、倭 英司、宮崎 純一

(大阪大学大学院医学系研究科 幹細胞制御)

5 5. ES 細胞における ERas および Visfatin の機能解析

村上 未玲<sup>1</sup>、高橋 和利<sup>1</sup>、一阪 朋子<sup>1</sup>、岸本 加恵<sup>2</sup>、西澤 雅子<sup>2</sup>、平松 隆司<sup>2</sup>、山中 伸弥<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>京都大学再生医科学研究所、<sup>2</sup>住友製薬ゲノム科学研究所)

5 6. 神経上皮発生における RECK の役割

村口 輝行、北嶋 俊輔、松本 直也、高橋 玲、野田 亮、高橋 智聡

(京都大学医学研究科 分腫瘍学領域)

57. マウス ES 細胞の色素細胞分化誘導系を用いた神経堤細胞解析の試み  
本橋 力、國貞隆弘  
 (岐阜大学大学院・再生医科学独立専攻・組織器官形成統御部門)
58. EVII 遺伝子による GATA-2 転写調節と白血病発症機構の解析  
西片一朗、島原明子、森下和広  
 (宮崎大医学部生化学講座・腫瘍生化学分野)
59. Notch signal は胎生期メラノブラストの生存に必須である  
森山麻里子、影山龍一郎、西川伸一、大沢匡毅  
 (理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター 幹細胞研究グループ)
60. マウス初期発生時の始原生殖細胞における遺伝子発現の経時的定量解析  
藪田幸宏、栗本一基、大日向康秀、関 由行、斎藤通紀  
 (理化学研究所 CDB 哺乳類生殖細胞研究チーム)
61. ヒト人工染色体ベクターを用いた遺伝子治療を目指して：  
 ヒト造血細胞における導入遺伝子発現及び増殖制御  
山田秀俊<sup>1</sup>、國里篤志<sup>2</sup>、西川光郎<sup>1,2</sup>、押村光雄<sup>1</sup>  
 (1 鳥取大学大学院 院機能再生医化学、2 キリンビール (株) 医薬カンパニー)
62. ポリコーム群遺伝子 BMI-1 が白血病細胞の増殖、分化、細胞死に与える影響  
菱田朝陽、山本一仁、神戸栄喜、直江知樹  
 (名古屋大学大学院医学系研究科 分子細胞内科学、予防医学教室)
63. 転写因子 PU.1 と c-Jun の相互作用は単球系細胞分化を誘導する  
山本幸也、Erica K Evans、直江知樹、Daniel G. Tenen  
 (ハーバード大学医学部、名古屋大学大学院医学系研究科 分子細胞内科学)
64. Evi-1 の胎生期造血発生における役割  
湯浅博美、尾池雄一、岩間厚志、西片一朗、森下和広、須田年生  
 (慶応義塾大学医学部 発生・分化生物学)
65. Smooth muscle  $\alpha$ -actin-GFP transgenic mouse を用いた造血幹細胞の可塑性の検討  
横田貴史<sup>1</sup>、佐藤佐内<sup>2</sup>、河上 裕<sup>2</sup>、Jen-Yue Tsai<sup>3</sup>、織谷健司<sup>1</sup>、富山佳昭<sup>1</sup>、  
松村 到<sup>1</sup>、Paul W. Kincade<sup>4</sup>、金倉 謙<sup>1</sup>  
 (大阪大学血液腫瘍内科<sup>1</sup>、Oklahoma Univ. Health Science Center<sup>2</sup>、National Institutes of Health<sup>3</sup>、Oklahoma Med. Res. Foundation<sup>4</sup>)
66. ヒト造血幹細胞による内胚葉系組織再生の検討  
吉田周郎、石川文彦、下田和哉、原田実根  
 (九州大学医学研究院 病態修復内科学)
67. 新生児マウス精巣由来多能性幹細胞からの血液分化誘導  
吉本桃子、張 璽、篠原 隆司、篠原 美都、平家 俊男、中畑 龍俊

(京都大学医学研究科発達小児科、分子遺伝学)

6 8. PI3 キナーゼ/Akt シグナルによる ES 細胞の分化多能性制御

渡部 晶子<sup>1</sup>、榎原 宏紀<sup>1</sup>、村山 一茂<sup>2</sup>、末盛 博文<sup>3</sup>、岡部 勝<sup>4</sup>、  
木村 透<sup>2</sup>、仲野 徹<sup>1,2</sup>

(<sup>1</sup> 阪大・院・生命機能, <sup>2</sup> 阪大・医・病理, <sup>3</sup> 京大・再生研, <sup>4</sup> 阪大・遺伝情報実験センター)

6 9. 細胞骨格変化による造血幹細胞発生制御の可能性の検討

吉田尚美、佐竹正延、渡邊利雄

(東北大学加齢医学研究所 免疫遺伝子制御)